

冒頭自己紹介が有り、自称「ホワイトなハッカー」というインターネットやパソコン・スマートフォンのプロとのことでした。様々なトラブルの解決や相談をされていることの経験から啓発をしていただきました。

近年SNSにまつわる事件や問題が多発しています。その背景には、使うものの無知からくる匿名性を信じたり、ネットに投降した画像などを元に自宅を特定するなどのストーキング被害にあったりするという事です。

結論から述べますと、インターネットに書き込まれた情報を元に、捜査機関は加害者にも被害者にもたどり着けるということです。【逮捕・起訴・裁判・有罪判決・賠償・解雇などに発展します】

どういったケースが有るかをご紹介します。

1 アカウムの乗っ取り

IDやパスワードの使用や使いまわし。他言やフィッシング詐欺、ホームページに個人情報を入力するなど、たくさんの罠が潜んでいます。

【見抜く力や考察する力を更新しないとイケません】

2 画像や動画投稿によるトラブル

不適切な画像を含む情報の拡散によるトラブルは、自分が思うよりも急激に拡散されます。

「醤油ぺろぺろ事件」を思い出してください。莫大な被害請求をされています。

【投稿する前に良く推考すること。想像力を高めること】

3 架空アカウントによる詐欺サイトへの誘導

SNSには想像もつかないくらいの情報があふれています。メリットも多いですが、悪用するものも多いとのこと。偽アカ・架空アカによる不正なリンクへの誘導。

【偽アカウントやリンク・URLが不正なものかを見抜く力。知識】

4 炎上や晒し（いわゆる さらし）

主にX（旧Twitter）に多くトラブルも頻発しています。「バイトテロ等」と称される行き過ぎた悪戯や犯罪。個人攻撃や過度な誹謗中傷。画像から個人を特定するものも有名です。また意見の違いからくる攻撃や炎上。

【内容の精査、誤解を生みにくい文面、不要や安易な投稿は控える】

【閲覧制限をかける】【個人を特定する情報を含む画像は投稿しない】

様々な危険や落とし穴が有るにも関わらず、私たちは利用することに対するレクチャーをほとんど受けていません。これは親子ともに共通していることです。自らも含め利用することの安全安心な対策ができていないということに気づかされました。また過度な利用に対するスマホ中毒などや寄り目（斜視）等の健康被害やイライラやストレスの精神被害も明らかになってきています。

各ご家庭におかれては、一度家族に利用状況を確認してみることも必要なのかなと思います。

人生を豊かにするために使い続けられますように。